



————— 主な内容 —————

- みんなで取り組む課題・知事選挙のお礼---2
- お知らせ・自転車共済の案内-----3
- 京都市の補聴器助成制度-----4
- 今年度の年金改定、まちがいさがし-----5
- 自転車の安全運転を考える-----6
- 京都高齢者福祉事業団の思い出（寄稿）---7
- 京都の催事案内・葵祭-----8
- 行楽 賀茂川の桜と植物園を巡る-----9
- 編集後記、まちがいさがしこたえ-----10

発行所

全日本建設交運一般労働組合 (建交労)
京都 事業団・高齢者部会
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp
発行日 毎月15日 一部30円
No.361 (2026年) 4月号



近くの宝塔寺さんの桜 近くの高校の生徒さん入れて 上林常哲

みんなでき取り組む課題

第5回支部執行委員会は3月18日に行い、11人出席のもと開催して、以下のとおり報告・討議しました。

1. 職場のこと、仲間のこと

今回は冒頭に「特殊詐欺（オレオレ詐欺）」で組合員が被害に遭遇したことが報告されました。委員会ではこれに関連して、怪しいスマホメールでのフィッシング詐欺など、改めて身近にある危険の数々を挙げて、組合員への注意喚起が必要であることを話し合いました。

1. この間の取り組みの振り返り

① 税の学習会（2月25日）。税務相談などは5人。

② 府本部の春闘決起集会（3月8日）。6人参加。

2. 各分会の取り組み

① ソーシャルサービス協会京都事業所分会、春闘妥結。

② 宇治分会、定年延長に係る労使のやり取り報告。

3. 京都府知事選挙の取り組み

この間の選挙闘争行動と参加人数などの報告。

4. 今後の取り組み

① 職場アンケートの取り扱いと、組合員への報告段取り。

② 今年のハローワーク前アンケートの取り組み。

③ 京都総評・最賃署名の内容と署名集めの取り組み。

④ その他、執行委員の動向に関する報告。

京都府知事選挙の取り組みと結果について

建交労京都支部執行委員長 松永雅明

① 4月5日に執行された京都府知事選挙では、藤井伸生さんは15万票弱を獲得しましたが、政党相乗りの現職候補に及びませんでした。

② 私たちは、1月の藤井さんの立候補表明を受け、2月の執行委員会で府知事候補として推薦を決定。高齢者会館民主府政の会を立ち上げ、民主府政の会南区連絡会に参加して、運動を進めてきました。

③ 機関誌での訴えやチラシの配布、選挙ハガキの郵送、電話での呼びかけなどを通じて、組合員の皆さんに藤井さんへの支持拡大を訴えてきました。

④ 諸物価高騰の中で「くらしの応援」を行う府政への転換をめざし、ケア労働を魅力ある仕事へと高める政策の実現とともに、北陸新幹線京都延伸反対、原発ゼロ、舞鶴自衛隊基地の強化や祝園分屯地の弾薬庫建設への反対などを訴えてきました。

⑤ 本選挙にあたっては、14人の組合員の皆さんから合計2万8520円のカンパをお寄せいただきました。支部での選挙活動経費や、選挙確認団体への活動分担金などに活用させていただきました。ご協力に心より感謝申し上げます。

お知らせ

自転車共済の受付をしています

- 昨年から加入されている方には、年度更新の申込用紙を郵送します。5月20日までに、更新手続きをお済ませください。
 - 新しく加入をお考えの組合員さんに向けて、チラシを同封しています。募集は年1回です。これを機会に、ご検討ください。加入申し込みは、組合事務所までご連絡ください。
- ☎075-691-1007（おおむね平日の午前9時～午後4時頃まで）

- 掛金は申込時の一括払で、2,000円+（600円×人数）となります。つまり、本人のみなら2,600円、ご夫婦なら3,200円です。2,000円が契約ごとの個人賠償責任共済、600円が自転車災害共済です。
- この自転車共済の補償期間は、7月1日から翌年6月30日です。
- 自転車事故でケガをした場合は、自損事故でも警察に届けてください。共済給付申請には、公的な交通事故証明が必要になります。

“最賃署名”にご協力ください

今年も、京都府最低賃金の引き上げと、中小企業に対する支援策を求める署名にご協力ください。

ご署名いただけましたら、最寄りの執行委員が労働組合事務所、京都高齢者福祉事業団事務局までお届けください。



京都市で補聴器助成ついに実現

市民運動と議会論戦が市政を動かす

京都市で今年10月から、高齢者の補聴器購入費助成制度が始まります。市民の粘り強い運動と議会での追及が制度創設を実現させました。一方で、助成額や利用要件には、なお改善すべき課題が残されています。

京都市は2026年度予算案に、高齢者の補聴器購入費助成制度を盛り込みました。

対象は65歳以上の京都市民で、補聴器が必要と認められた人などの助成額は購入費の2分の1、上限は両耳で3万円とされ、今年10月からの実施が予定されています。

加齢性難聴は75歳以上の約7割に見られ、放置すれば認知症リスクの増大や社会的孤立にもつながります。しかし補聴器は片耳でも十数万円と高額なため、

所有率はわずか15%にとどまります。

こうした中、普及率を高めるため、公的助成を求める運動は全国に広がり、すでに500を超える自治体で制度が実現しています。京都でも2020年に「補聴器の公的補助を求

課題も…「助成額引き上げと要件緩和を」

しかし、今回の制度は出発点にすぎません。まず助成額の少なさです。全国平均は3万6千円、府内最高の大山崎町は上限5万円です。

また利用要件の厳しさが挙げられます。補聴器専門医の診断に加え、地域介護予防推進センターでの講座参加や購入後のプログラム参加が必要となっています。介護度が高い人や交通不便地域の住民には利用しに

める会」が結成され、署名活動や自治体交渉、議会への請願など、粘り強い取り組みが続けられてきました。市議会でも繰り返し助成の必要性が取り上げられ、今回の制度創設へとつなげました。

京都府内では京丹後市、精華町、京田辺市、大山崎町に続く5番目の実施となります。市民の声と運動、議会論戦が行政を動かした成果といえます。

くいなど、利用のハードルも高く、高齢者の実情に合っているとは言えません。誰もが利用しやすい制度への改善は急務です。

今回の制度実現は、市民運動が行政を動かした重要な一歩です。今後引き続き、誰一人取り残さない制度へと前進させるため、運動と世論をさらに広げていくことが求められています。

(山川)

年金は4年連続増額も、物価に追いつかず実質目減り

2026年度年金改定、暮らしへの影響は依然厳しく

2026年度の年金支給額は4年連続の引き上げとなる。しかし物価上昇率を下回る改定にとどまり、実質的な生活水準はむしろ低下する見通し。制度面では一部改善もあるが、年金生活の厳しさは続いている。

政府は、2026年度（令和8年度）の年金支給額について、前年度比で引き上げる改定を決定・発表しました。これにより年金額は4年連続の増額となります。

改定率は、基礎年金（国民年金）が前年度比1.9%増、厚生年金（報酬比例部分）が同2.0%増となります。具体的には、老齢基礎年金は満額で月額7万608円（年額84万7300円）、厚生年金は夫婦2人分の標準的なモデルで月額23万7279円。この改定は今年4月分から適用され、6月支給分から反映されます。

一方で、今回の増額は物価上昇率3.2%を下回っており、実質的な購買

力は低下します。額面上は増えても、日常の生活費負担の増加に追いつかず、「目減り」となっています。

制度面ではいくつかの変更もあり、低所得の年金受給者を支える年金生活者支援給付金は、今年度から3.2%の増加が見込まれる。また在職老齢年金制度は、支給停止となる基準額が月額51万円から65万円へと引き上げられ、一定の就労継続を後押しする内容となっています。

物価高騰が続く中で年金水準の実質的な引き上げには至らず、高齢者の生活をめぐる不安は解消されていない。安心して暮らせる年金制度の確立を求めています。（山川）

4月のまちがいさがし 学校給食

2つの絵で違いが7カ所あります。

（答えは10ページ）



安全

自転車も「車の仲間」へ

罰則強化時代の自転車の安全運転を考える

道路交通法の改正により、自転車の交通違反に対する罰則が強化されました。4月からは「青切符」による反則金制度も導入され、これまで以上にルール遵守が求められています。身近な移動手段である自転車を、安全に利用し続けるために、心構えを改めて確認してください。

近年、自転車事故の増加を背景に、道路交通法の見直しが進められてきました。なかでも大きな変更は、自転車利用者に対する罰則の強化です。信号無視や一時停止違反、右側通行などに反則金が科される仕組み（いわゆる「青切符」）が導入され、違反に対する責任がより明確になりました。また「ながらスマホ」や酒気帯び運転といった危険行為についても、厳しい罰則の対象とされています。これらは重大事故に直結する行為であり、「ついうっかり」では済まされない時代になっています。改めて確認しておきたいのは、自

転車は歩行者ではなく「軽車両」、つまり車の一種であるという点です。原則として車道の左側を通行し、信号や標識に従う必要があります。一方で、70歳以上の高齢者は、安全確保の観点から歩道通行が認められる場合もありますが、その際も歩行者優先で徐行することが求められます。では、高齢者としてどのような点に気をつけるべきか？ 第一に、自転車も「運転している」という意識を持つことです。免許が不要であっても、事故を起こせば加害者となり得ます。第二に、無理をしないことです。加齢により判断力や反応速度

は低下します。交通量の多い道路や混雑した時間帯は避け、危険を感じたときには自転車を降りて押して歩くことも大切です。第三に、「ながら運転」は絶対に避けることです。スマートフォンでの操作や注意散漫は事故の大きな原因になります。

さらに、事故防止のためには「見える・見られる工夫」も重要です。早めのライト点灯や反射材の活用、明るい服装は、自分の存在を周囲に知らせる有効な手段です。そして何より、歩行者への思いやりを忘れてはなりません。特に歩道では、自転車は「通らせてもらう」という立場であり、譲り合いの姿勢が求められます。

今回の法改正は、取り締まりを強めること自体が目的ではなく、事故を減らし生命を守ることにあります。自転車は高齢者にとって大切な移動手段です。「ゆっくり・確実に・譲り合い」を基本に、安全で安心な利用を心がけてください。（山川）



牛や豚とともに

連載第6回 京都高齢者福祉事業団OB 木村 徹さん

京都市中央卸売市場第二市場の勤務形態は、基本的に月曜・水曜・祝祭日が休みです。ただし、12月の繁忙期である第2・第3週の水曜日は勤務となります。また、12月29日から1月4日までは休みです。

私たちの勤務は8時から15時までの6時間で、1日の出面は4〜5名です。フォークリフトの運転者が1名、伝票を付ける者が1名は必ず出勤します。

朝8時が出勤時刻ですが、実際には7時30分には現場に出て仕事の準備を始めます。毎日、守衛室にはその日の牛や豚の処分数が掲示されます。処分数が少ない日は、少し気が楽になります。

牛は北は北海道から南は九州まで、各地からトラックで運ばれてきます。

1日の処分数は、おおよそ牛が20頭から50頭、豚は50頭から100頭近くへのぼります。

前夜に運ばれてきた牛は、係留場で処分の順番を待っています。朝になると、それらの牛が1頭ずつロープにつながれ、処分場へと、並んで入っていきます。最後にホースで水をかけられます。状況が分かるのか、モーモーと大きな声で鳴く牛もいます。

牛は処分場では頭を固定され、圧縮空気の銃で頭部を撃たれ、脳震盪で倒れます。すぐに喉を切り開き、鉄棒を心臓へ差し入れます。その後、頭部は胴体から切り離されます。胴体の後ろ足にはチェーンがかけられ、2階の処理場へ引き上げられます。首からは血が滴り落ちていきます。

切り離された頭部は、すばやく角と皮がはがされ、カゴに入れられます。皮をはがされた頭部からは、まづ舌(タン)を取り出します。この作業は獣医師が担当します。検査のため、脳も取り出されます。舌を抜かれ、頭骨だけになったものがリフトで私たちの待つ場所まで運ばれてきます。

頭部は1つで20キロ近くあり、それを大型のプラスチック製の箱(縦2メートル、横1メートル、高さ1メートルほど)に入れます。1箱には30頭分ほど入ります。それらは1日保存するため、大型コンテナ(冷凍庫)に収納します。(つづく)





京都の催事案内

有料行事を含む、イベント予定を拾ってみました。主催者の都合や天候等で、中止の場合があります。

5月1日(金) 春の古書大即売会／みやこめつせ

野菜地域産品市／京都府立植物園

5月2日(土) 湯上がりクラフトビール祭／伏見力の湯

八十八夜茶摘みの集い／宇治茶会館

5月3日(日) 市民煎茶の会／元離宮二条城・清流園

亀岡光秀まつり／亀岡市役所

5月5日(火) 泰山府君祭／赤山禅院（左京区修学院）

藤森祭・駄馬神事／藤森神社

5月9日(土) レプタイルズショー／パルスプラザ

宇治川源平龍舟祭／宇治公園・塔の島

5月10日(日) 葵祭／京都御所／下鴨神社／上賀茂神社

歌舞伎鑑賞教室／南座（四条川端）

5月15日(金) 春のバラまつり／綾部バラ園（綾部市）

三船祭／嵐山大堰川（渡月橋上流）

5月16日(土) 大仏鉄道ウォーキング／JR木津駅東口

一斉放水点検／美山かやぶきの里（南丹）

5月20日(水) 全国煎茶道大会／黄檗山萬福寺（宇治）

五月満月祭／鞍馬寺（左京区）

5月23日(土) あじさい園公開／三室戸寺（宇治市菟道）

5月31日(日)

さつき 皐月のあれこれ Ⅱ 葵祭 Ⅱ

京都の5月といえば葵祭。5月15日、京都御所を午前10時半に出発し、総勢500人余、馬36頭、牛4頭、牛車2基、輿1台による王朝行列が、堺町御門を出て丸太町通を東進、河原町通を北上、出町橋から下鴨神社へ向かいます。午後には下鴨神社を出発し、下鴨本通を北上、洛北高校前で左折、北大路橋を渡って右折、御蔭橋から上賀茂神社へ。全行程は約8キロに及ぶそうです。

京都御苑内の旧宮家・旧公家屋敷の遺構の見学

葵祭などで京都御苑に出かけられた際には、苑内の諸施設もあわせて見学されてはいかがでしょうか。

閑院宮邸跡収納展示館（問之町口の西側）

閑院宮は江戸時代の四親王家（伏見宮、桂宮、有栖川宮）の一つ。収納展示館は4年前にリニューアルされ、

京都御苑の自然や歴史を学べる展示室と庭園が公開されています。VRシアターも併設。入館無料。

拾翠亭（旧九條家遺構・問之町口の東側）

五摂家・九條家（ほかには近衛、一條、二條、鷹司）の屋敷内にあった茶会や歌会のために建てられた江戸時代の別邸が現存し、公開されています。池のほとりに建つ2階建の数寄屋風書院造で、大小2つの茶室があります。2階座敷からの眺めは格別。入場料300円。（山川）

行楽

花見しながら賀茂川から植物園を散策

建交労京都支部OB 中村 崇さん

3月28日、「久世健康友の会・歩こう会」の仲間たちと、花見散策に出かけました。当日は絶好の行楽日和で、妻と共に集合場所へ向かう道中から「今日は暑くなりそう」と言い合うほどの快晴。移動には京都市の「敬老乗車証」を活用しており、こうした外出の折にその恩恵に授かるたび、京都市民であることの喜びを実感します。

地下鉄九条駅に集まった20人の参加者は、今出川駅へ。下車後、京都御所と同志社大学に挟まれた今出川通を東へ進み、賀茂大橋へ。橋からは「鴨川デルタ」が眺めら



▲京都府立植物園の芝生広場にて

れます。府民の憩いの場として知られるこの場所は、多くの家族連れやグループで賑わいを見せていました。一行は橋の西側から河原へと降り、賀茂川に沿って北上を開始します。出町橋、葵橋、出雲路橋と進むにつれ、視界には満開の桜が次々と飛び込んできます。川沿いに広がる鴨川公園は、色とりどりのシートを広げて宴を楽しむ人々が溢れ、活気に満ちていました。北大路橋で上がり、

植物園へと到着しました。

京都府立植物園は日本最古の公立植物園で、2024年にちょうど百周年という節目を迎え、次の百年に向けて「世界の生物多様性の保全への貢献」という新たなビジョンを掲げています。1992年の観覧温室竣工を皮切りに、「四季 彩の丘」や「森のカフェ」など、植栽施設から憩いのスペースまで幅広く拡充されています。春には約500本の桜、秋には紅葉が園内を彩るなど、四季折々の植物の生命力に触れられる場所として、案内板にもその魅力が誇らしげに記されていました。

芝生広場に到着した一行は、グループごとに腰を下ろし、持参した弁当を広げました。外で食べる食事と美しい景色の組み合わせは格別です。食後の自由行動で印象的だったのは、梅林やチューリップ、種類豊富に植えられていたツバキ園です。熱心に見て回るうちに足に疲れを感じ、木陰のベンチで一休み。春の風を感じながら過ごす穏やかな時間は、何物にも代えがたいものでした。



▲桜と雪柳

この日の出費は夫婦二人の入園料500円のみ。交通費はすべて敬老乗車証で賄われ、非常に安上がりながらも、心身ともに豊かになれた充実の一日となりました。

編集後記

春の彼岸を過ぎましたが、朝夕は冷え込みが残ります。さらにこの時期は、檜ヒノなどの常緑樹が葉を落とす季節でもあり、掃除に追われる日々です。風邪など召されぬようご自愛を。

新自由主義と分断政治の危うさ

先の京都府知事選で次点となった浜田聡氏の公約を改めて辿ってみた。

「納税者を守る」という威勢の良い言葉が並ぶが、その実態は社会保障の切り捨てと公的責任の放棄に近い。

▼減税の財源として、福祉や医療、地域を支える仕組みを削減すれば、そのしわ寄せは、高齢者や低所得者、非正規労働者など、本来支援を必要とする人々に向かう。▼また「本物の弱者」という恣意的な線引きや、外国人への規制強化を掲げる姿勢は、市民の間に不信と対立を生み、社会の分断を深める。▼「既得権益」や

「公金チューチュー」といった過激な言葉で行政や団体を一括して否定するのも、冷静な議論を遠ざけるポピュリズムの典型。必要なのは個別の課題に即した丁寧な検証と改善であり、一刀両断の切り捨てではない。

▼また、警察力の大幅強化や監視技術の拡大は、「安全」の名のもとに市民の自由を圧迫する危うさを孕はらむ。安心と引き換えに監視社会を受け入れることが、真の自由だろうか。▼京都の未来は、一部の「強者」だけが恩恵を受ける社会ではなく、多様な背景を持つ誰もが安心して暮らせる地であってほしいと思う。(や)



まちがいさがしのこたえ